

私たちはナビゲーションの専門家です



GNSS Simulation

XPLORA

リアルタイムGNSSシミュレータ

サポートされているGNSS信号	GPS: L1 C/A, L2C, L5 Galileo: E1 B/C, E5a-I/Q, E5b-I/Q GLONASS: G1 C/A, G2 C/A BeiDou: B1, B2 SBAS: L1 C/A
帯域幅	RF出力あたり最大120MHz
コンステレーション更新レート	最大250Hz
解像度:	最大2x16ビット (複素I/Q)
オペレーティングシステム	Linux
チャンネル数	最大 128 (選択した信号コンポーネントによって異なります)
シミュレーション	- エフェメリスまたは軌道統合に基づく衛星軌道 - 衛星クロック モデル - 大気遅延 - 電離層遅延モデル: Klobuchar, Nequick-Gal, IONEX Tec Maps - 対流圏遅延モデル: Saastamoinen, Hopfield, GPT2w - マルチパス モデル (統計的および決定論的) - すべての遅延のノイズ モデルはカスタマイズ可能で、高度に (ビット ツールに) 再現可能 - アンテナゲインパターンと障害物マスク - RFFE シミュレーションを含む IF 信号パラメータ - ユーザーが構成可能なナビゲーションメッセージ - 受信機移動シミュレーション (GUI、ユーザー ファイル、または API による入力) - 1つのシミュレーション内で複数の受信機をシミュレーション
周波数範囲	2x RF チューナー、9kHz - 3GHz (0.001Hz 分解能)
RF1、RF2 間の精度	100us未満
基準精度	OEXO 年当たり±5 x 10 ⁻⁸ の経年変化 <±1 x 10 ⁻⁸ の温度安定性 10分のウォームアップ時間
パワーレベル	最大出力: +20 dBm (標準) 解像度: 0.1 dB 不確実性: ±0.5 dB: +10 dBm - -50 dBm 範囲: ±1.0 dB: below -50 dBm ダイナミックレンジ: -134 dBm - +20 dBm (peak); <75 dB typical
スペクトル純度	高調波 f >30 MHz: <-30 dBc at +10 dBm 高調波 f <30 MHz: <-40 dBc at +10 dBm 非高調波 >30 MHz: <-75 dBc typical 非高調波 <30 MHz: <-80 dBc typical
出力IP3	<30 MHz @ 10 dBm デュアルトーン、2 MHz 間隔: 35 dBm typical 100 MHz @ 10 dBm デュアルトーン、2 MHz 間隔: 40 dBm typical 1575 MHz @ 10 dBm デュアルトーン、2 MHz 間隔: 34 dBm typical 2332.5 MHz @ 10 dBm デュアルトーン、2 MHz 間隔: 32 dBm typical
連続操作	対応
シミュレーション反復率	250Hz, 100Hz, 50Hz, 10Hz
軌道のシミュレーション更新率	250Hz, 100Hz, 50Hz, 10Hz, 1Hz
ループ HIL におけるハードウェアのシミュレーション	250Hz, 100Hz, 50Hz, 10Hz, Latency to RF output < 2ms
受信アンテナのシミュレーション	ゲイン
送信アンテナのシミュレーション	ゲイン、位相
ログ機能	- 時間関連パラメータ - シミュレーションされた車両軌道パラメータ - 受信機アンテナパラメータ - 衛星軌道パラメータ - 衛星送信アンテナパラメータ - 受信信号パラメータ

OHB_A3Productsheet_XPLORA_EN_2.0 - 警告: OHB Digital Solutions GmbH はすべての出版物の正確さに努めていますが、この資料には誤りや省略が含まれていて、事前の通知なしに変更されることがあります。OHB Digital Solutions は、この資料の使用に起因する特定の、間接的な、または結果的な損害について責任を負いません。明示的な許可なしに、この文書をコピーしたり、他の人に渡したり、その内容を複製または伝達したりすることは禁止されています。違反者は損害賠償の支払い義務を負います。



XPLORA (旧「GPSIE」) は部分的に欧州宇宙機関のプログラムに基づいて開発され、欧州宇宙機関からの資金提供を受けました。ここで表明された見解は、欧州宇宙機関の公式見解を反映しているとは決して考えられません。

初心者も専門家も同様に使える GNSS シミュレーション

あらゆるニーズに対応するGNSSシミュレーター - GNSS ハードウェア、研究または衛星星座シミュレーションのテストと検証。

より複雑なテストシナリオに合わせて、迅速に作成されたシミュレーションとパラメータを細部に至るまで調整できるため、メリットが得られます。



メインユーザーインターフェース

衛星軌道、ナビゲーションメッセージを構成し、オンザフライまたはハードウェアインザループセットアップでシミュレーションパラメータを変更します。

非常に詳細な信号シミュレーションを使用して、干渉とスプーフィングの対策と緩和戦略を改善します。



XPLORA信号生成ハードウェア

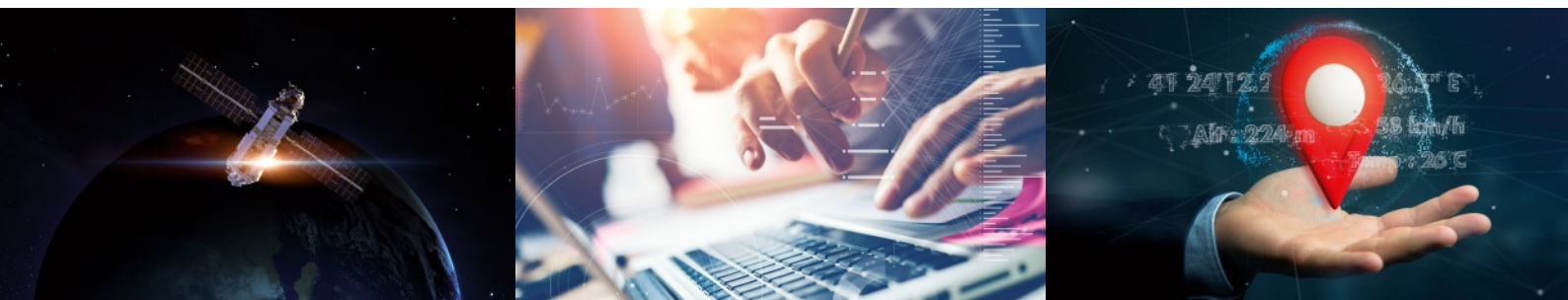
モジュール式、機能的、直観的

XPLORAは、現在利用可能なすべての公共GNSS信号と周波数を生成できるGNSSシミュレーターです。リアルタイムでの直接RF信号再生、またはデジタルIFベースバンド信号生成を提供します。さらに、GNSS受信機観測物のシミュレーションも利用できます。

シミュレータ機能は、オプションの信号、周波数帯域、干渉および複数の受信機のシミュレーションを提供することで、ユーザーの要件を正確に満たす機能の点で調整できます。

豊富なコア機能セット

- すべてのGNSSの軌道シミュレーションを自由にカスタマイズ可能
- 大気による遅延の正確なモデル - 電離層と対流圏
- 位置、速度、加速度、受信機の姿勢を定義することによる受信機の動き
- シミュレートされた受信機とアンテナの数は無制限
- ユーザー定義のアンテナ特性とアンテナアレイのモデリング
- マルチパスモデリング
- 詳細な干渉とスプーフィングのシミュレーション
- GNSS ICD またはカスタマイズされたユーザー定義メッセージ形式に基づくナビゲーションメッセージシミュレーション
- ジャミングとスプーフィングの形でのGNSS干渉シミュレーション
- API または GUI を介したシミュレーション実行時のシナリオパラメータのリアルタイム変更
- グラフィカルユーザーインターフェイスまたはコマンドラインインターフェイス



GNSS Simulation

XPLORA のシミュレーション機能をお楽しみください

XPLORA GNSS シミュレーターは、ナビゲーション戦争シナリオにおけるシステム インテグレーター、GNSS 機器のメーカーとユーザー、研究機関、政府当局、軍隊に適しています。

- 現実的で本格的な GNSS 信号環境のためのすべてのパラメータを制御します
- すべてのテストを正確に繰り返す
- 新しい衛星群と信号を事前にシミュレート
- 実験室環境でテストし、GNSS が拒否された環境を現実的にシミュレートします

GNSS 機器と GNSS アプリケーションの開発、認定、認証におけるリソースと時間を最適化する方法については、当社までお問い合わせください。

＜日本正規販売代理店＞
ウェーブクレスト株式会社
〒336-0021 埼玉県さいたま市南区别所1-27-5
TEL：048-764-9969
Email：info@wavecrestkk.co.jp
<https://wavecrestkk.co.jp/wc/>

OHB DIGITAL SOLUTIONS GMBH

Kärntner Straße 7b/1
A-8020 Graz
Austria



+43-316-890971-0
info@ohb-digital.at
www.ohb-digital.at

WE ARE THE NAVIGATION EXPERTS